

【学校の教育目標】		いっしょに学ぼう、いっしょに話そう、いっしょに考えよう			資質・能力との関連			学校自己評価					学校関係者評価			
【育成を目指す資質・能力】		主体的に学ぶ力 読解力			知識・技能	思考力・表現力・判断力	学びに向かう力・人間性等	取組指標の検証	達成指標の検証	達成率（％）	重点目標に対する評価	改善策 今後の具体的な取り組み				
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	担当												
基礎基本の知識と技能を身に着ける	○ 単元末テストの「知識・技能」の領域で期待値を超える児童の割合を国語70％以上算数75％以上とする	学校 ○ 個に応じた少人数指導による復習の徹底	○ 全教職員で算数・国語の単元末に個に応じた少人数指導を実施する。習熟度別・意欲別で課題を選択させる。	梶原 穴井 藤野	○						※達成率から自動入力					
		○ ドリルタイムの複数指導による復習の徹底	○ 全教職員で週2回のドリルタイムの指導を行う。 YOMIURIワークシートを活用して、読み取りの課題に取り組む。		○											
		家庭 ○ 家族読書の推進 静かな家庭学習の時間の設定	○ 学期に1回ノーメディアデーを設定し、家族で読書を行う。 ノーメディアデーは1時間以上テレビやネットから離れるようにする。		○											
		地域 ○ 知識・技能の習得	○ 公民館行事の放課後チャレンジ教室や育成協主催の行事等で体験や工作、地域学習を実施する。		○											
自ら考え、深め、相手の育成意識を持ち表現	○ 学期末に国語の読み取りテストを行い、正答率8割を超える児童の割合で1学期（76.3％）を上回る	学校 ○ 国語の「読むこと」の単元で図書館を活用した言語活動を実施	○ 物語や説明文をもとに、紹介カードづくりやリーフレットづくりなどの言語活動を取り入れる。	貝ヶ石 楢原 高瀬 春末		○					※達成率から自動入力					
		○	○													
		家庭 ○ 音読への意欲の向上	○ 保護者は、週1回以上子どもの音読に向き合って聞く時間を持つ。			○										
		地域 ○ 公民館や育成協の活動で、児童の承認・認知の実施	○ 公民館や育成協の活動で、スタッフから承認・認知の声掛けを行う。			○										
自主的に行動し、主体的に学びに向かう態度	○ 「自主学習の内容を自分で決めている」の児童アンケートで肯定的評価90％以上とする	学校 ○ 児童を主体とした授業改善	○ 学期に2回程度協調学習に取り組む。（1学期は1年生を除く）	山元 松成 橋本 後藤		○					※達成率から自動入力					
		○ 自主学習の実施 1～3年はプリント自主選択をする	○ 2週間に1回以上「自主学習」を取り入れる。			○										
		家庭 ○ 家庭での学習習慣の定着	○ 月に1回以上子どもの自主学習と一緒に取り組む			○										
		地域 ○ 児童の主体的な活動の場の設定	○ 公民館行事や育成協の取組の中で、活動内容を子どもとともに考える機会を設ける。			○										
【働き方改革の推進】 働きやすい環境づくり	○ 在校時間を町平均以下にする	学校等 ○ 毎月1日分以上の年休所得	○ 月末に翌月の計画年休を設定する。	牧	該当する項目に○					※達成率から自動入力						
		○ 定時退庁日の設定	○ 毎週金曜日をノー残業デーとする													
		○	○													